



だいぎ 議会だより

No.194

2023
令和5年
10月発行



第3回定例会

一般会計予算9,058万4,000円を追加補正…P2～3

決算認定

令和4年度決算を特別委員会で徹底審議…P4～5

一般質問

7名の議員が11項目を問う…P6～10

『公共施設の整備について』『大樹町再生可能エネルギー導入計画について』など

※大樹中学校文化祭、3年生によるオリジナル創作劇での1枚。
生徒が脚本づくりから照明・音響操作を手掛け、みんなで劇り上げたステージは、忘れられない思い出になりました。

発行／北海道大樹町議会
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

物価高騰対策としての の免除や運送事業者を支援

規約の一部改正や
補正予算など
18件を審議!!

白熱議論を経て 令和4年度各会計決算を認定

令和4年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大樹町一般会計	91億6,233万3,723円	88億4,344万7,469円
大樹町国民健康保険事業特別会計	7億2,715万513円	7億1,939万3,284円
大樹町後期高齢者医療特別会計	9,990万6,763円	9,988万1,067円
大樹町介護保険特別会計	7億3,013万5,250円	6億8,052万6,342円
大樹町介護サービス事業特別会計	3億9,078万382円	3億7,784万2,667円
大樹町水道事業会計	5億9,968万2,487円	9億9,568万8,727円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	11億3,666万8,569円	11億1,520万9,067円
大樹町下水道事業会計	3億6,091万6,978円	4億4,415万7,456円

監査委員意見書

令和4年度一般会計他各特別会計及び公営企業会計の決算審査は、予算の執行が関係法令に従い、適正かつ効率的に執行されているか、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類の照合と住民福祉の増進という町行政の本旨に沿った執行が行われているか、に主眼を置き、延べ34日間実施した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成、所定の期間内に提出されており、関係諸帳簿及び証拠書類等と照合精査した結果、計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。



北林 博美 代表監査委員

意見書の提出

「全会一致で採択し、関係大臣に提出しました。」

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負担の少ない循環型社会を形成するため、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、必要な予算を安定的かつ継続的に確保するための措置を講ずるよう要望する。

「意見書」とは…

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。関係機関に意見書を提出して問題を解決するよう要望し、議会としての考えを表明することができます。

一般会計予算 **9,058万4,000円** を追加補正

〔主なもの〕

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用!

運送事業者への支援



運送事業者燃料価格高騰対策支援事業

原油価格の高騰による運送事業者支援のため、対象車両1台あたり2万5千円、1事業者あたり50万円を限度に支援します。

水道基本料金の免除

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業

電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、10月から12月までの3か月分の水道基本料金を免除します。

井戸水の利用者は、家事用区分の基本料金相当分を補助します。



起業経費の一部を補助



起業家等支援事業

当初予算分の補助は交付決定しましたが、新規申請が見込まれるため、増額補正します。

事業の概要

- 町内で新たに事業を行う場合や既存事業者が新規事業を行う場合に、起業経費の一部を補助。
- 空き店舗を利用した場合には取得・賃貸に係る経費の一部も助成。

有害鳥獣駆除費用の増額

有害鳥獣駆除事業

有害鳥獣の駆除費用に不足が見込まれるため増額補正します。

問 西田 輝樹 議員

どの程度の駆除頭数を想定した補正なのか。

答 松久農林水産課長

ヒグマ5頭分、エゾシカ110頭分、キツネやアライグマ、タヌキなど130頭分程度を想定している。

コロナワクチン秋開始接種



新型コロナウイルス対策事業

新型コロナウイルスワクチン接種費用（2,100件分）などを増額補正します。

概要

- 自己負担なしの特例臨時接種の実施予定期間 令和5年9月20日～令和6年3月31日
- 接種対象者 生後6か月以上のすべての方
- ワクチン種類 オミクロン株対応1価ワクチン(XBB.1.5)

畑作産地の課題に対応

持続的畑作生産体系確立緊急支援事業

畑作産地における病害の抑制と生産拡大の両立、労働負担軽減、環境に配慮した生産体系の確立に向けた取組等を支援します。



算 審 査 特 別 委 員 会

齊藤議長と辻本監査委員を除く10名で徹底審議！

決算について審議し、認定しました。このページでは、委員会での質疑の一部を掲載しています。



再生可能エネルギー導入施設（太陽光発電所）



補助金を活用して建築された住宅

再生可能エネルギー導入計画策定業務費の内訳は

問 寺嶋 誠一 委員

再生可能エネルギー導入計画策定業務費の内訳は、令和5年度以降のゼロカーボン推進協議会の開催や計画の推進についても業務委託をするのか。

答 伊勢企画商工課長

業務費の内訳は、人件費や情報収集分析・将来推計・シナリオ作成・業務内容の項目調査費、協議会開催に伴う旅費など。令和5年度以降は委託の予定はない。

乳がん検診の助成医療機関を増やすべきでは

問 西山 弘志 委員

受診者の選択肢が広がるよう乳がん検診の助成が受けられる町指定の医療機関を増やすべきでは。

答 瀬尾保健福祉課参事

乳がん検診は町で行う集団検診と協会病院への委託検診がある。今後需要があれば、助成対象の医療機関の拡大について検討したい。

マイホーム支援補助金を増額すべきでは

問 播間 章浩 委員

住宅の建築費が増額して住宅が建築されない状況にある。マイホーム支援補助金を増額すべきでは。

答 黒川町長

事業は令和8年度までの5か年計画となっている。再生エネルギー関係など、国の補助で活用できるものがないか探している。省エネ住宅など環境に配慮した補助にしていきたい。

移動投票の取組を実施しては

問 志民 和義 委員

一部自治体で、投票所へ行くことが困難な地域に選挙管理委員会が出向いて投票してもらおう移動投票を実施しているが、大樹町も実施しては。

答 吉田総務課長

将来的には必要と考えている。先進町村に内容等を確認し、今後選挙管理委員会で実施に向けて検討したい。

賛成

西田 輝樹 委員

繰越財源を除いた実質収支は3億408万円の黒字となり、歳入の確保や歳出の削減に対する努力は、十分評価できる。予算執行の内容・成果も効率的かつ適正に執行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 一般会計

志民 和義 委員

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要。住民の事情をよく知る町職員には解決していく力が備わっていると考え。よって、本案に反対する。

反対

賛成

寺嶋 誠一 委員

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 後期高齢者医療特別会計

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。よって、本案に反対する。

反対



菅 敏範 委員長

令和4年度決

9月11日～9月14日開催

令和4年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の8会計の



利用が検討される旧プール敷地



町が管理する公衆トイレ

旧プール敷地に学童保育所を建設しては

問 吉岡 信弘 委員

旧プールの敷地に、将来学童保育所を建設してはどうかと考えるが、解体や利用予定はあるか。

答 黒川町長

すぐに解体すると単独費用がかかるため、今後の利用が決まった場合に解体したい。利用予定は学童保育所も含めて、今後の課題として検討中。

公衆トイレの管理状況は

問 西田 輝樹 委員

公衆トイレの管理箇所、管理状況は。

答 水津住民課長

管理箇所は、尾田・生花・晩成・歴舟・石坂・開進の6か所。清掃は週2回、草刈りは適宜行っている。

スポーツ大会参加助成金要綱の見直しが必要では

問 船戸 健二 委員

子どもが目標を持ち努力を継続できるよう、スポーツ大会参加助成金の助成対象を拡大するため要綱の見直しが必要では。

答 沼田教育長

単に助成対象の拡大をするのではなく、時代に即した公平性・平等性・透明性を持った制度となるよう随時検討し、必要があれば見直しを図る。

物価高騰等を踏まえた来年度予算編成の考えは

問 安田 清之 委員

昨今の物価や人件費の高騰を踏まえると、町財政は起債の償還時期の令和7年頃から苦しくなる。来年度予算編成の考えは。

答 黒川町長

来年度予算は、総合計画で定めた中で優先順位をつけながら計画的に編成していく。物価高騰等も頭に入れ、有利な起債や予算規模を吟味し、令和7年にピークになる庁舎の元金償還を踏まえ起債の運用も考えていく。

表決の分かれた議案

※菅委員長は表決に参加しません

議案名	播間章浩	寺嶋誠一	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結果
令和4年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定
令和4年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定

一般質問

7名の議員が11項目について質問

町民の声を町政に届ける

◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・ 質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・ 一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・ 事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・ 登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

西山 弘志 議員 …………… P7

- ◎今後の物価高騰対策について
- ◎町道「湯の里線」の復旧について

西田 輝樹 議員 …………… P7

- ◎高齢者等の情報弱者に対する行政の役割について
- ◎行財政改革について

吉岡 信弘 議員 …………… P8

- ◎小中学校・大樹高校のエアコン設置について
- ◎公共施設の整備について

船戸 健二 議員 …………… P8

- ◎学童保育について

志民 和義 議員 …………… P9

- ◎国保税の子ども均等割りの改善について
- ◎個人商店のリフォーム制度の創設について

寺嶋 誠一 議員 …………… P9

- ◎大樹町再生可能エネルギー導入計画について

播間 章浩 議員 …………… P10

- ◎第5期総合計画の成果と町民の住みやすい町に向けての取組について



一般質問のページに掲載している二次元バーコードから、議員ごとの議会中継をご覧ください。



西山 弘志 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

水道基本料金を昨年度(5か月)と同等以上の免除を

答

10月から3か月間の免除を実施する

Q1 今後の物価高騰対策について

質問 電気料金・灯油・食料品などの物価高騰が続き、光熱費がかかる季節が到来する。町民の経済的負担を軽減するため、冬期間の水道基本料金を昨年度(5か月)と同等以上に免除しては。

答 (黒川町長) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と町の一般財源を活用して10月から12月までの3か月分の水道基本料金を免除する。昨年と同等以上の免除はさらなる一般財源の持ち出しになるため財政的に厳しい。

質問 運送事業者を対象に燃料高騰対策を実施するが、町で委託している町有バス・スクールバスの運行業務や除排雪等の業務などの委託業者にも支援が必要では。

答 (黒川町長) 契約の中で物価変動があった場合は、両者協議して契約内容を変更できる条項を明記している。

Q2 町道「湯の里線」の復旧について

質問 ホロカヤンターには、北海道指定史跡の竪穴住居群があり、歴史的・教育的価値がある。また、冬は町内外からワカサギ釣りにぎわう観光スポットである。町道「湯の里線」は重要な道路であることから、1日も早い復旧が必要では。

答 (黒川町長) 近年の海岸浸食を考慮して海岸より約150m手前で通行止めとしている。十勝ホロカヤンター竪穴群の見学やワカサギ釣りへの経路は確保されているが、護岸の対策は町の管轄ではないため、関係部署と相談しながら進めていく。



西田 輝樹 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

高齢者等の情報弱者対策を

答

学習機会の提供を行う

Q1 高齢者等の情報弱者に対する行政の役割について

質問 行政サービスにおける情報通信機器の利用状況について。

答 (黒川町長) 国は、自治体に対して令和7年度までに住民基本台帳の管理など20業務について標準準拠システムへの移行を求めており、それに沿って当町でも作業を進めている。

質問 高齢者等の情報弱者への対策について。

答 (黒川町長) 情報通信機器は日常生活に欠かせないものであり、高齢者等の関心が高まるよう努めていく。

質問 今後の情報社会に向けた計画や考えについて。

答 (黒川町長) 今後も高速化・大容量化が進むと考えている。町民の利便性の向上を図るため、行政サービスのオンライン手続きなどの推進と、情報弱者と呼ばれている方々への支援は、広報紙など従来からの情報発信と組み合わせた複数の媒体によるきめ細かな情報発信に努めていく。

Q2 行財政改革について

質問 現在の財政状況をどう考えているか。健全な財政運営か。

答 (黒川町長) 町の財政状況をはかる指標値はそれぞれ基準値を大きく下回っており、過去3か年と比較しても概ね健全な範囲内と判断している。

質問 行財政改革の予定について。

答 (黒川町長) 第4次大樹町行財政改革大綱以降作成していないが、財政の健全化、行政運営の効率化やサービスの向上など今後も推進していく。



吉岡 信弘 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



小中・高校へ早急にエアコン設置を

質問

答

小中学校は来年度に向け設置したい

Q1 小中学校・大樹高校のエアコン設置について

質問 十勝にも熱中症警戒アラートが発令された。児童・生徒を熱中症から守るため、早急にエアコンを設置することが重要では。

答 (沼田教育長) 水分補給等の対策をとってはいるが、熱中症の未然防止にはエアコンが必要と考えている。

質問 命にかかわることであり、来年夏までに設置するべきでは。

答 (黒川町長) (小中学校については) 来年度の設置に向けて検討している。物理的な部分もあるが早急に設置できるように進めていく。

質問 高校の存続対策としても、町費でエアコンを設置する考えは。

答 (黒川町長) 町費による設置は考えていない。北海道教育委員会に要請する。

Q2 公共施設の整備について

質問 火葬場の改築の見通しは。

答 (黒川町長) 火葬場は、昭和50年利用開始以来、48年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいる。今後、早い時期に幕別町との協議や事業計画の検討に入りたい。

質問 学童保育所を第6期大樹町総合計画で新築する考えは。

答 (黒川町長) ほかの公共施設との兼ね合いもあるが、住民ニーズやコストバランスなどを踏まえ、優先順位を考えながら検討する。

質問

学童保育所で給食提供を

答

ニーズを把握するため調査する



船戸 健二 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



Q1 学童保育について

質問 学童保育所での長期休暇(春・夏・冬休み)に給食を提供する考えは。

答 (黒川町長) 保護者の家事負担の軽減という面で効果はあるが、食事を希望する児童の取りまとめや発注、コストを考慮した料金設定と徴収、食物アレルギーへの配慮等多くの課題がある。当分は先行地域の取組状況等を情報収集したい。

質問 多くの課題があるとのことだが、あくまで学校給食の延長と考え、給食事業での各マニュアル等を連動し対応可能では。

答 (黒川町長) 給食事業の延長として、マニュアルに沿って実施できる設備は学童保育所にはない。

質問 給食センターの体制として提供は可能か。

答 (井上学校教育課長) 施設のメンテナンスや機器・食器等の点検は、長期休暇に実施している。調理員も長期休暇に合わせ休暇を取得しているため、衛生管理等の観点からも提供できる日数は限られる。

質問 課題克服のため、試験的な導入の考えは。

答 (沼田教育長) 補助は、学校給食に限定されており、学校給食事業以外での給食提供には、様々な課題がある。先行事例について研究・検討する。

質問 食材の高騰は家庭に直接響いている。子どもの貧困問題もあり、食の確保が重要では。

答 (黒川町長) 希望が多いのか保護者のニーズを把握するため調査する。

意見 長期休暇に学童保育所で過ごす子どもたちのお昼ご飯が重要。作りたてで温かく栄養バランスに配慮された学校給食を提供できる体制を進めていきたい。



志民 和義 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

国保税子どもの均等割りの改善を

答

令和12年度の保険料率統一に向けて検討

Q1 国保税の子どもの均等割りの改善について

質問 国保税の未就学児の均等割りの一部が軽減されたが、子育て支援の観点から国や道に対して、引き続き免除や軽減措置の拡大を求めている。また、町独自で措置を拡大する考えは。

答 (黒川町長) 国では、令和4年4月から未就学児保険料の均等割りを5割軽減した。軽減率の拡大は、引き続き地方団体と協議する。

また、町独自の免除や軽減については、現在、令和12年度の保険料率の統一に向けた取組を進めているため、必要と判断した段階で財政状況等により検討する。

Q2 個人商店のリフォーム制度の創設について

質問 近年、町内で営業している個人商店へのリフォーム支援が求められている。制度創設の考えは。

答 (黒川町長) 個人商店のリフォームは、店舗の長寿命化や省エネルギー化、良好な景観の確保などの見地から重要なことと認識しているが、本来は事業者が経営の中で行うもの。町が中小企業の振興のために進んでいる融資制度や利子補給を活用してほしい。

今後、ニーズが高まり、商工会から要請があれば検討する。



寺嶋 誠一 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

暖房燃料を重油からバイオ燃料へ

答

脱炭素社会実現に向け再生可能エネルギーへの切り替えは重要

Q1 大樹町再生可能エネルギー導入計画について

質問 本計画の進捗状況について。

答 (黒川町長) 本年2月に、2023年度から2030年度までの8年間を期間とする計画を策定し、10月頃を目途にゼロカーボン推進協議会を開催して施策の展開に向けて協議を進めていく。

質問 町民に対する意識調査について。

答 (黒川町長) 昨年10月に無作為抽出した1500人の町民に対し、意識調査も含めたアンケート調査を実施したため、現段階では新たに意識調査を行う考えはない。

質問 脱炭素社会に向け、公共施設の暖房燃料を重油からバイオ燃料へ切り替えることについて。

答 (黒川町長) 令和4年度から生涯学習センターと小学校の燃料は木質チップを使用しており、さらなる二酸化炭素排出削減に向けて、公共施設の燃料等を化石燃料から再生可能エネルギーに切り替えていくことが重要だと考えている。

現在、町内の牧場に協力をいただいて、家畜ふん尿からバイオメタンを製造する実証実験を行っており、地産地消の観点からも公共施設へのバイオメタンの活用について検討したい。

質問 廃棄物部門の排出量削減目標について、一般廃棄物の削減目標が、基準年度は2023tに対し、目標年度は1780tと約12%減程度にとどまる理由は。

答 (黒川町長) この目標値は、令和2年から10年計画で作成した一般廃棄物処理基本計画を基にしており、計画を作成する際は、環境省で定められたごみ処理基本計画に基づき、人口動態も考慮して作成した。



播間 章浩 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会で
ご覧ください。



住民票等のコンビニ 交付について

質問

答

導入に向けて検討を進める

Q1 第5期総合計画の成果と町民の住みやすい町に
向けての取組について

質問 第5期総合計画の中で「地域情報化の充実」
施策が示されていたが、今後はデジタルの力を活用
したまちづくりが必要では。

答 (黒川町長) デジタルの力を活用して地域経済
の活性化や人口減少、少子高齢化への対応、行政手
続きのオンライン化などに取り組んでいきたい。

質問 住民票等のコンビニ交付は、自治体業務の
簡素化・効率化、住民の利便性の向上という意味で
重要視されているが今後の導入予定は。

答 (黒川町長) 住民ニーズの高い行政サービスと
捉え、早い時期での導入に向けて検討を進める。

質問 広報紙と合わせてSNS等を利用した配信、
町民のライフスタイルや社会的属性などに合わせた
広報配信が必要では。

答 (黒川町長) LINE等を活用した情報発信を
検討し、住民サービスの向上に努めたい。

質問 町内の事業者と人をマッチングさせるため、
近隣町村が行う地域に特化した求人サイト等の整備
が大樹の魅力発信という意味でも必要。今後事業と
して進める可能性は。

答 (黒川町長) 労働力の確保を図ることは必要な
ことと認識している。運用コストなどと照らし合わ
せ、今後、必要性を含めて検討したい。

追跡レポート



議会での質問事項について、
現在の状況を追いました。

令和4年9月第3回定例会
西山 弘志 議員 一般質問

「自然災害等防災対策の強化の取組について」

問 浜大樹・旭浜における津波避難タワー
の整備は町の急務では。

答 津波避難タワーの整備などによる垂直避
難先の確保は、今後検討の必要がある。

その後 総務常任委員会と町総務課防災担当職
員が先進地の別海町を視察。



別海町野村半島に整備された津波避難施設

令和5年3月第1回定例会
齊藤 徹 議員 一般質問

「大樹高等学校の存続に向けた今後の取組について」

問 高校の魅力伝える広報活動を
展開していく考えは。

答 内容を工夫した
2種類のパンフレットを作成する。

その後 パンフレットが完成。



学校案内
パンフレット

在校生の声などを掲載し
高校の魅力が伝わる内容に



令和6年度から始まる
新学科「普通科地域
探求科」の特色を紹介

新学科パンフレット



一目でわかる 審議結果

第3回定例会（9月5日～15日開催）での審議事項について、審議結果の一覧を掲載しています。

全会一致の議案

第3回定例会	令和4年度健全化判断比率について 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	令和4年度資金不足比率について 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について 後志広域連合から加入の申し入れがあり、新たに構成団体に加えるため規約の変更を行いました。	原案可決
	令和5年度大樹町一般会計補正予算（第3号）について 歳入歳出それぞれ9,058万4千円を追加し、予算の総額を84億3,885万5千円としました。	原案可決
	令和5年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ1,200万円を追加し、予算の総額を7億755万円としました。	原案可決
	令和5年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ4,865万9千円を追加し、予算の総額を7億4,608万7千円としました。	原案可決
	令和5年度大樹町水道事業会計補正予算（第2号）について 収益的収入の予定額を4億8,752万2千円、収益的支出の予定額を5億3,251万5千円としました。	原案可決
	令和5年度大樹町下水道事業会計補正予算（第1号）について 収益的支出の予定額を3億2,383万5千円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町一般会計決算認定について 歳入91億6,233万3,723円、歳出88億4,344万7,469円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定について 歳入7億2,715万513円、歳出7億1,939万3,284円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定について 歳入9,990万6,763円、歳出9,988万1,067円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町介護保険特別会計決算認定について 歳入7億3,013万5,250円、歳出6億8,052万6,342円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定について 歳入3億9,078万382円、歳出3億7,784万2,667円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町水道事業会計決算認定について 歳入5億9,968万2,487円、歳出9億956万8,727円の執行について認定しました。	認定

次のページへ続く

第3回定例会	令和4年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定について 歳入11億3,666万8,569円、歳出11億1,520万9,067円の執行について認定しました。	認定
	令和4年度大樹町下水道事業会計決算認定について 歳入3億6,091万6,978円、歳出4億4,415万7,456円の執行について認定しました。	認定
	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について 森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負担の少ない循環型社会を形成するため、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書を提出しました。	原案可決
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、必要な予算を安定的かつ継続的に確保するための措置を講ずるよう要望する意見書を提出しました。	原案可決

YouTubeで議会中継をご覧いただけます!

本会議や予算・決算特別委員会はライブ中継しています。
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会の傍聴
できますので、ぜひご利用ください。
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。



次の定例会は 12月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩
副委員長 船戸 健二
委員 菅 敏範
委員 西山 弘志
委員 吉岡 信弘
委員 寺嶋 誠一

編集後記

今夏の長期間続いた記録的な猛暑は秋まで続き、基幹産業や住民生活に大きな影響を与えました。
特に教育現場では、熱中症対策で「一部活動の自粛や授業時間の短縮」が相次ぎ、管内の多くの町村では、小中学校への「エアコン設置」の動きが加速しました。
猛暑の功罪とは言いたくありませんが、子どもたちの快適な授業環境が整備されることに期待したいと思います。
委員 菅 敏範